

登録コード	A3591373	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅰ					担当教員	安江 恒
英文授業名	PresentationⅠ						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド、ポスター等を用いて発表する。 最終回に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	研究分野に関連する論文を読み、要約を行う。 参考書を参照してプレゼン資料の作成を行う。						
(7)成績評価の基準	作成資料の発表内容および説明のわかりやすさにより評価します。 不可：0-59，可：60-69，良：70-79，優：80-89，秀：90-100						
(8)事前事後学習の内容	研究分野に関連する論文を読み、要約を行う。 参考書を参照してプレゼン資料の作成を行う。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	発表した課題の内容						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける						
(12)履修上の注意							
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 伝わるデザインの基本 増補改訂版 よい資料を作るためのレイアウトのルールÓ高橋 佑磨（著），片山 なつ（著）技術評論社						